



議会だより

平成31年

2月

1日号

おおたわら市 “題字は高野礼子議長”

No.189



気持ち新たに（新議場）

新庁舎屋上からの眺め



平成30年
第5回

市議会定例会

平成30年第5回市議会定例会(12月定例会)は、去る11月30日(金)から12月12日(水)までの13日間を会期として開かれました。

初日に各常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任を行い、正副委員長の互選を行いました。(議会だより1月1日号に掲載の通り)

本定例会に提出された案件は、市長からの報告2件、議案17件でした。議会からは、議事会議規則に関する議員案1件が上程されました。

主な議案としては、平成30年度大田原市一般会計補正予算(第3号)や条例の一部改正案、大田原市子ども未来館の指定管理者の指定についてでした。

一般会計補正予算について

は、歳入歳出予算、債務負担行為及び地方債の補正であり、小中学校のエアコン設置に係る経費など、特に緊急を要する経費について補正措置を講じるものでした。

条例の改正及び指定管理の指定等に関しては、所管の常任委員会に付託され、最終日にその結果が報告されました。採決の結果、これらを含めて本定例会に上程された議案は全て原案の通り可決されました。

議案の詳細と一般質問の内容については、下記以降をご覧ください。

なお今定例会を最後に50余年市政の論戦の場として利用された議場は新庁舎7階へ移転します。新議場においてもこれまで以上に活発な議論がなされるよう議員一同気持ちを引き締めてまいります。

平成30年 第5回大田原市議会定例会 審議された議案等と結果

議案番号	議 案 件 名	結 果
報告第11号	市長の専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	報告受理
報告第12号	市長の専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	報告受理
議案第83号	大田原市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて(高信榮治氏)	同 意 (全会一致)
議案第84号	大田原市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて(高橋正実氏)	同 意 (全会一致)
議案第85号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(小林正通氏)	推薦することに異議なし (全会一致)
議案第86号	大田原市行政組織条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (賛成多数)
議案第87号	大田原市一般職の職員の給与に関する条例及び大田原市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第88号	市長等の給与に関する条例及び大田原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (賛成多数)
議案第89号	大田原市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (賛成多数)
議案第90号	大田原市税条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (賛成多数)

議案番号	議 案 件 名	結 果
議案第91号	大田原市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (賛成多数)
議案第92号	大田原市保育所条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第93号	大田原市子ども未来館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第94号	大田原市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第95号	大田原市子育て支援券条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第96号	大田原市子ども未来館の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第97号	平成30年度大田原市一般会計補正予算(第3号)	原案可決 (賛成多数)
議案第98号	平成30年度大田原市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (賛成多数)
議案第99号	平成30年度大田原市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (賛成多数)
議員案第1号	大田原市議会会議規則の一部を改正する議会規則の制定について	原案可決 (全会一致)

平成30年 第5回市議会定例会における表決状況一欄

議 案	秋山幸子	印南典子	星雅人	鈴木央	滝田一郎	弓座秀之	櫻井潤一郎	高木雄大	高瀬重嗣	菊池久光	深澤賢市	中川雅之	大豆生田春美	小池利雄	藤田紀夫	君島孝明	前野良三	高野礼子	黒澤昭治	引地達雄	本澤節子	小野寺尚武	千保一夫	高崎和夫	小林正勝	前田雄一郎
議案第83号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第84号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第85号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第86号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	×	○	○	○
議案第87号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第88号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第89号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第90号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第91号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第92号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第93号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第94号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第95号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第96号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第97号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第98号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第99号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議員案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ※高野礼子議長は採決に原則加わりません

一般質問

市政を問う

一般質問とは

定例会において、議員が市民の代表として、行政全般にわたり市の考え方や施策の進捗状況及び将来における政策方針等を質すことです。また、議員は市長等の答弁を受け、疑問を質すことはもとより、市民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をする議員の重要な権限です。

(次ページ以降の質問及び答弁に関する記事は、質問した議員が自ら原稿をおこし、それを掲載しています。なお、原稿提出があった方のみ掲載しております。)

質問通告者と質問事項

順番	質問者	質問事項
1	滝田 一郎	①平成31年度予算編成方針について ②新元号対策について ③小中学校エアコン整備事業について ④新庁舎開庁後の行政機能の刷新について ⑤地区公民館の運営について ⑥環境にやさしいバイオディーゼル燃料（BDF）について ⑦子育て親子の交流等を促進する子育て支援について
2	大豆生田 春美	①高齢者の肺炎球菌ワクチン接種について ②LLブック（やさしく読みやすい本）の導入について ③新生児聴覚検査について
3	菊池 久光	①子育て支援券発行及び販売終了後の取組みについて ②自転車の安全利用促進について ③火災・災害時のサイレン吹鳴と情報伝達・情報連携について
4	本澤 節子	①教育問題について ②高齢者対策について ③障害者との共生社会を目指して ④焼却場、ごみ発電、木質発電について ⑤市民の声

順番	質問者	質問事項
5	秋山 幸子	①こども医療費助成制度について ②本市の小・中学校での児童・生徒の学校歯科検診と治療について ③高齢者の歯と口腔内健康保持に8020運動の推進について
6	櫻井潤一郎	①福祉タクシー事業について ②有害鳥獣駆除対策について ③栃木国体について ④地球温暖化について
7	小池 利雄	①観光危機管理の充実について ②学校の防犯シャッターについて
8	印南 典子	①国の制度を大田原市の実情に応じた仕組みに変える為の地方分権改革の「提案募集方式」の活用について ②更なる安心安全性の向上を図る為の災害時に備えた施策について
9	高木 雄大	①超高齢化社会における高齢者の健康と生きがいづくりについて ②大田原市歴史遺産の有効活用について ③大田原中学校増改築事業について
10	中川 雅之	①小型無人機「ドローン」を活用したまちづくりについて ②「風しん・インフルエンザ」感染予防対策について
11	鈴木 央	①デスティネーションキャンペーン終了について ②工業団地について ③街路樹の維持管理について
12	高瀬 重嗣	①新元号の扱いについて ②成人年齢引き下げに対する今後の市の対応について ③市の各「都市宣言」について
13	小野寺 尚武	①新年度の予算編成と透明性の高い財政運営のための提言 ②文化財行政について
14	星 雅人	①文化財の保存と活用及び市史編さん事業について ②地域の文化拠点としての図書館について
15	千保 一夫	①津久井市政に期待する3期12年の集大成について ②議会の意見は市民の声である、と謙虚に受け止めるべき

※太字が掲載されている項目

一般質問

子育て親子の交流等を促進する子育て支援について



質問者席
滝田 一郎 議員

質問…0歳児の在宅の子育てが8割を超えている現状においては、さらなる子育て民営拠点施設の拡充が求められます。在宅子育て人数について伺います。

答弁…平成30年4月1日現在の本市の子供の人数は、0歳から5歳の合計が3260人で、在宅子育て人数は、0歳が421人、1歳が238人、2歳が230人、3歳が16人、4歳が15

人、5歳が5人の合計925人です。3歳から5歳の在宅の子供がほとんどいないことと、0歳から2歳までは、育児休業等を取得して育児を行っている方が多いことがわかります。

質問…今後の民営拠点施設の推進について伺います。

答弁…平成31年4月より、くろばね保育園が民営化され仁平学園により運営されることとなり、

黒羽子育て支援センターは市営から仁平学園に委託する民営に変わります。平成31年4月開園予定のひかり保育園からも、子育て支援センター開設の相談をいただいています。子育て支援拠点施設へのニーズも高まっております、今後も民営による施設についても事業の実施方法、目的、内容等を精査した上で、設置の推進を考えていきます。



大豆生田 春美 議員

高齢者の肺炎球菌ワクチン接種について

質問…来年度から定期接種が65歳の方のみとなりますが、市として66歳以上の方を対象に、法定外接種として接種料金の一部を助成することはできないかお伺いいたします。

答弁…現行の制度のままであれば、平成31年度から65歳の方のみが定期予防接種の対象となり、70歳以上の方が法定外予防接種の対象であることから、66歳

から69歳までの方は助成を受けられない状況となりますので、法定外予防接種の対象年齢の引き下げについて前向きに検討してまいりたいと考えてはおりますが、自己責任という部分があります。せっかく国や県、または市でも助成制度を作っているにもかかわらず、それを無視して時期が過ぎたから過ぎたものに対して助成金をもつとよこせ

というような考え方を認めるということはいかがなものかという考え方も付け加えさせていただいて、前向きに検討させていただきます。

一般質問

教育問題について



本澤 節子 議員

火災・災害時のサイレン吹鳴と情報伝達・情報連携について



菊池 久光 議員

質問…昨年度市のいじめ認知数は小学校159人（前年比マイナス8人）、中学校20人（前年比マイナス9人）、不登校は小学校25人（前年比+2人）、中学校72人（前年比+5人）、暴力行為は小学校21人、中学校7人など、形態別、原因別など調査がなされたようです。これらの調査結果について、どう考えられ対処されたのか伺います。

質問…調査結果をゆゆしき問題と捉え、スクールカウンセラーの配置の拡大、学校教育相談員の研修を充実。早期的な解決が難しいケースもございいますが、引き続き努力してまいります。

質問…本年9月市内中学2年男子生徒が逮捕、罪名は強制わいせつ及び脅迫。市の対応について伺います。

答弁…被害者のケアを最優先に

答弁…調査結果をゆゆしき問題と捉え、スクールカウンセラーの配置の拡大、学校教育相談員の研修を充実。早期的な解決が難しいケースもございりますが、引き続き努力してまいります。

質問…市民の方から若い教師が生徒に対し、「おまえら、てめえら」呼ばわりしたり、恫喝するなど、教師によるいじめがあるとの声。どう対処されますか。

答弁…報告はございません。

質問…現在火災発生時や災害時、火災予防運動期間中に消防団員が手動で吹鳴している消防サイレンを無線での吹鳴にすべきかと考えますが、今後について伺います。

答弁…防災情報伝達システムにつきましても、電波法の改正に伴い、平成34年11月で現在市が使用している防災行政無線が使用できなくなることから、新たな

な情報伝達システムの整備を検討してきましたが、平成31年度から平成32年度の2カ年で携帯電話通信網利用による整備を行うこととし、平成31年度より予算計上をしております。ご質問のサイレン吹鳴につきましてもこのシステムに加えて整備することとしております。

質問…消防サイレンを含めた有事の際の情報伝達手段について

伺います。

答弁…有事の際の情報伝達につきましては、現在登録制メールの一斉送信と黒羽地区の防災行政無線による屋外拡声と個別受信としておりますが、新たな情報伝達システムの整備により、平成33年度以降は市内全域で登録メール、屋外拡声、個別受信により災害や市の情報を伝達してまいります。

地球温暖化について



櫻井 潤一郎 議員

一般質問



秋山 幸子 議員

本市の小・中学校での
児童・生徒の学校歯科
検診と治療について

質問… 保険医団体連絡会が全国の小中学校などに通う子どもの口腔状態や受診状況を把握する学校歯科医療調査を行いました。

全国の小学校で歯科検診を受けた子どもの中で、要歯科受診と診断された子どものうち、歯科未受診は52・1%、中学校では66・6%と報告され、高学年になるほど未受診が増える傾向です。そこで、大田原市の小・

中学校歯科検診で歯科医受診の指示を受けた人数、治療を受けた人数、未受診の人数を伺います。

答弁… 平成29年度の歯科検診の結果、市内全児童生徒数の約23%である1288人に治療勧告をしております。そのうち年度内に受診した人数は56%718人、受診していない人数は44%の570人でありました。

質問… 受診しない児童生徒の要因を把握しているか伺います。

答弁… 受診しなかった理由について学校への調査の結果、一番多かった理由といたしまして、家庭内の意識不足でございました。今後も学校では関係機関との連携を図り、さまざまな工夫により、少しでも治療率を上げられるよう、家庭の健康への意識の向上を目指してまいります。

質問… 取り組みと実績について。

答弁… 住宅用太陽光発電システム設置費補助金は、平成16年度から開始し、平成29年度まで1561件、住宅用省エネ設備設置費補助金は平成26年度開始で97件、クリーンエネルギー自動車購入費補助金は平成26年度開始で25件交付をした。

質問… 新庁舎の節電エコオフィスとしての取り組みについて。

答弁… 自然換気システムを導入し、エレベーター周りの空間を煙突機能という形で持たせ、窓の開放により外部の空気を取り入れて、建物内にある空気を上部に逃がすという構造で空調機能、運転を削減することにより、電力量の削減が見込まれる。そのほかには、窓ガラスに熱負荷を軽減できる2枚の複層ガラスを採用している。また、冷暖房

についても、執務室、あるいは議場等の大空間は床下から空気を噴き出すような居住域空調方式を採用して、人の背の高さまでの温度を主に調整することにより、天井から噴き出す空調方式と比較すると省エネ効果があると見込まれている。そのほか空調機能、予冷のために井戸水を利用するか、庁舎内の照明はLEDの照明を使用している。

観光危機管理の充実に
ついて



小池 利雄 議員

一般質問



印南 典子 議員

更なる安心安全性の向上を
図る為の災害時に備えた
施策について

質問…地域防災計画に観光旅行者に対する避難場所、避難経路等の計画が定められていますか。

答弁…避難誘導のうち観光旅行者が使用するホテルやデパート等の集客施設における誘導に関しては、集客施設の管理者があらかじめ定めた施設職員の役割分担、誘導経路、連絡体制に基づき施設利用者の避難誘導を実施すると定めています。また、

今年度予定をしている地域防災計画の見直しの中で、観光客などが帰宅困難者となった場合、交通の麻痺を防止するため発災直後の一斉帰宅を抑制する等の項目を加え、帰宅困難者への支援対策について見直しをしてまいりたいと考えています。

質問…災害情報の多言語化の取り組みについて伺います。
答弁…外国人への支援対策として避難場所の案内看板の設置や電柱広告による案内表示を行っているところと見受けられます。バス停を利用し、最寄りの避難所の位置などを発信してはどうかとのことですが、避難情報の発信手段の一つとして研究をしてみたいと思います。

て、市は災害の規模、被害に際した災害多言語支援センターを設置する見直しを行い、適切な支援を行いたいと考えています。

質問…ホテル協会や旅館組合との協定はできていますか。
答弁…観光旅行者の避難についてはあらかじめ市が指定した一時滞在施設避難所へ集客施設の管理者が誘導するなど定め、対応したいと考えています。

質問…バス停に最寄りの避難所を掲示して、なおかつQRコードを使い携帯で読み込むことで多言語対応できるようにし、最寄りの避難所まで誘導できれば、どこで起こるか分からない災害時の避難に有効ではないかと考えます。市民及び市外からの来訪者にも対応した避難情報発信について伺います。
答弁…公共施設や道路を利用し

て避難場所の案内看板の設置や電柱広告による案内表示を行っているところと見受けられます。バス停を利用し、最寄りの避難所の位置などを発信してはどうかとのことですが、避難情報の発信手段の一つとして研究をしてみたいと思います。
質問…現在市内何本の電柱に案内が掲示されているか伺います。
答弁…広告数につきましては29

カ所となっております。
質問…市内のバス停は明らかにこの29よりも多いと思います。電柱広告のほうにはQRコードはついておりますか。
答弁…バス停は、800を超えていることです。電柱広告にはQRコードはつけていませんが、確認をしたところ、つけることは可能だという話はいただいています。

一般質問

超高齢化社会における
高齢者の健康と生きが
いづくりについて



高木 雄大 議員

質問…今後の取り組みと課題について伺います。

答弁…今後も高齢者ほほえみセンターが地域の拠点施設であると考えていますが、生活支援体制整備事業における協議体の検討の中で、「ほほえみセンターがカバーする地域が広すぎて通えない高齢者がいる」、「ほほえみセンターの利用者が固定されてしまい、新規利用がしにくい」

といった意見も聞かれるようになってきました。また、利用者が多いほほえみセンターでは利用者が施設に入りきれない状況も見られ、今後の課題となっております。そこで、現在のほほえみセンターで補い切れない部分を補完する取り組みとして、自治公民館や空き家、空き店舗等を活用したほほえみセンターよりも小規模な高齢者の居場所づ

くり、高齢者サロンといった活動に対する新たな支援を検討しており、平成31年度からの実施を予定しています。さらに高齢者の生きがいづくりとして取り組んできました老人クラブ活動等につきましても引き続き推進を図りながら、地域における切れ目のない高齢者の健康と生きがいづくりに取り組んでいきたいと考えています。

小型無人機「ドローン」を活用したまちづくりについて



中川 雅之 議員

質問…農林業分野における活用について伺います。

答弁…本市の病虫害防除協議会では、本年度からドローン1基を導入し水稲の病虫害防除・農作物の生育状況や病虫害の兆候の早期発見などに活用されており、また山間部や中山間地では、耕作放棄地の状況や違反転用の確認など、農地の利用状況調査や害獣対策の活用にも有効と考

えられます。林業ではパイロットロープ設置や森林資源調査に活用されており、将来的にはさらに用途が広がると思われますので、農林業に合せたドローンの活用を図ってまいります。

質問…教育・ICT教育推進における活用について伺います。

答弁…新学習指導要領では、プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付ける事が求

められており、本市の小中学校では、タブレットを使った学習やロボットを動かす計測や制御を学ぶ授業を取り入れ、児童生徒の発達段階に応じたプログラミング教育を推進しております。将来的にはドローンを活用したプログラミング教育の必要性が高まる可能性は否めませんので、検討し今後取り入れられるよう頑張っていきたいと思っております。

一般質問

街路樹の維持管理について



鈴木 央 議員

質問…街路樹の維持管理について伺います。

答弁…街路樹の管理につきましては、毎年幹線道路を中心とした34路線、植栽管理面積3万3600平方メートル、除草面積9万5000平方メートルを5分割し、入札により市内造園業者に発注しており、本年度は3164万円で実施しております。

質問…市民の方々によるボラン

ティアによる清掃活動について市の対応について伺います。

答弁…市担当課であります建設部道路維持課で把握している点につきましては、第一点として団体の方々として道路愛護会、それと道路の里親の関係者の皆様に管理して頂いている部分があります。又、個人の方々につきましては全てを確実に把握はしてはおりません。しかしなが

ら事前にご連絡を頂く事により無料でのごみ袋の配布、回収して頂いたごみ袋の回収も行ってまいります。市民の方々が街路樹の落ち葉拾い等行って頂く際は道路維持課の方にご連絡頂きたいと思えます。よろしくお願ひ致します。

成人年齢引き下げに
対する今後の市の
対応について



高瀬 重嗣 議員

質問…主権者教育や消費者教育について市はどのように考えているのか。

答弁…主権者教育においては、自らの考えを持ち社会の一員として活躍できる素地を養うこと、消費者教育においても、自らの意志決定で消費行動ができる自立した消費者としての素地を養うこととしている。これまでも租税教室や金銭教育教室、本物

の投票箱や投票用紙を用いて、模擬投票等を実施しており、今後も税務署や金融広報委員会、庁内関係各課との連携を図り、教育の充実を図る。

質問…中学生小学生の模擬議会の開催は考えているのか。

答弁…今後検討してみたい。

質問…成人式についてどのような対応を考えているのか。

答弁…平成34年4月1日に成人

年齢が引き下げられ、成人式をどのような形にするのかは本市のみならず全国共通の課題となっている。成年を成人式の対象とし18歳とするのか、二十歳の集いというような名称で現在と同じ20歳とするのかは本市ではまだ決定をしていないが、今後とも全国や県内市町の動向に注視して情報収集に努めていく。

文化財行政について



小野寺 尚武 議員

一般質問



星 雅人 議員

文化財の保存と活用及び市史編さん事業について

質問…芭蕉の句碑について伺う。

答弁…芭蕉と曾良の詠んだ句碑は市内に12基、文学碑が4基あります。本市が管理している土地の一角に建立されている8基は公園等と一体的に管理しています。それ以外は社寺や個人宅の敷地内にあり、その管理も委ねているのが実状です。管理の面でご指摘を受けることもあり、土地所有者等と連絡調整を

図り適切に管理して参ります。

質問…黒羽向町の常念寺境内と雲岩寺境内にある句碑は調べましたらパンフレットに少し載ってはいるが芭蕉の真蹟・真筆と
しんせきのことでした。芭蕉の真蹟を彫った句碑であることを前面に出し観光面においても活用していくべきと思うがいかがでしょうか。

らず全国、全世界にどんどん公表していきたいと考えております。特に今回指摘のありました芭蕉の直筆を彫った句碑というものパンフレットの方にもアピールして、俳句の愛好家のみならず観光部門の方と連携していきたいと考えております。

質問…新たな市史編さんの必要性を理解し取り組んでいることを高く評価しています。市史編さん事業の進捗状況を伺います。

答弁…市史編さん事業は、平成29年4月に文化振興課に市史編さん係を設置し、文化財係と兼務の係長と選任の学芸員1名を配置し、事業に着手しました。同時期に動き出した歴史文化基本構想の策定に向けた事前の作

業は、市史編さんの作業と共通するものであり、連携して資料等の事前把握、各種文化財の調査に取り組んできました。一方で、市史編さんの基本方針案を作成する市史編さん懇談会設置のため、平成30年3月に関係条例、要項を整備し、同年10月に最初の市史編さん懇談会を開催しました。同懇談会では、旧市町村史の続編とするか、見直し

て新たに編さんするか、書籍として刊行するか、デジタル公開とするか、その他市史の構成や編さん時期、体制などについて各委員から意見をいただきました。今後は、引き続き懇談会及び庁内検討部会の開催を重ねながら、平成31年度の上半期には基本方針案を固め、本格的な市史編さん体制へと移行していきたいと考えています。

議会 会 日 誌

10月



- 4日○那須市町村議会議長会
・市町村合同勉強会
- 那須地区議員交流会意見交換会
- 15日○全員協議会
- 議会運営委員会
- 広報広聴委員会
- 16日○栃木県市議会議長会
- 17日○那須地区広域行政事務組合議会定例会
- 30日○那須地区消防組合議会定例会

11月



- 6日○議会運営委員会
- 9日○大田原市営林視察
- 13日○平成30年第4回市議会臨時会
- 全員協議会
- 議会活性化特別委員会
- 広報広聴委員会

12月



- 21日○県北5市議長会議
- 22日○議会運営委員会
- 30日○平成30年第5回市議会定例会招集(議案上程)
- 全員協議会

- 4日○本会議(議案質疑・一般質問)
- 5日○本会議(一般質問)
- 6日○本会議(一般質問)
- 7日○総務常任委員会
- 民生常任委員会
- 10日○建設産業常任委員会
- 12日○本会議(議決)
- 議会運営委員会
- 全員協議会
- 18日○広報広聴委員会
- 25日○那須地区広域行政事務組合議会臨時会



「市民5分間演説」を してみませんか

大田原市議会では、市内に在住、在勤または在学する方で、議案に対する賛否や市の一般事務について、自分の意見を自由に発言することができる「市民5分間演説」を実施しております。

ぜひ議員の前で演説をしてみませんか。市民の皆様の参加をお待ちしております。詳細については議会事務局までお問い合わせください。

(演説申込について)

演説を希望される方は、土曜日、日曜日、祝日を除く、定例会の各常任委員会開催日3日前の正午までに議会事務局に市民5分間演説申込書(様式第1号)を提出してください。

なお、演説に関する詳細については市議会ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。



協議会及び委員会の内容

10月～12月

全員協議会

◆10月15日 (報告事項)

- 1 大田原市消防団員自動車運転免許取得費補助金交付要綱について

◆11月13日 (報告事項)

- 2 大田原市の豊かで美しい環境と太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例(案)に関する意見公募手続(パブリックコメント)の実施について
- 3 大田原中学校校舎増改築事業基本計画について
- 4 『第16回大田原市文学サロン』旅人と人、そして文学』の開催について

◆11月30日 (報告事項)

- 1 大田原市議会活性化特別委員会からの経過報告について
- 2 評価アンケートの配布について

◆12月12日 (報告事項)

- 1 新庁舎開庁式の挙行等について
- 2 「いのちを支える大田原市自殺対策計画」パブリックコメントの実施について
- 3 第68期王将戦七番勝負第3局の大田原市開催について
- 4 議会活性化特別委員会委員長報告について
- 5 議員親和会決算報告について

総務常任委員会

- 1 ◆11月30日 正副委員長の互選

- 1 ◆12月7日 付託案件の審査

民生常任委員会

- 1 ◆11月30日 正副委員長の互選

- 1 ◆12月7日 付託案件の審査

建設産業常任委員会

- 1 ◆11月30日 正副委員長の互選

◆12月10日

- 1 付託案件の審査

文教常任委員会

- 1 ◆11月30日 正副委員長の互選

議会運営委員会

- 1 ◆10月15日 新庁舎移転に伴う議席及び議員番号の検討について

- 1 ◆11月6日 平成30年第4回市議会臨時会の招集について
- 2 提出された議案等について
- 3 提出された議案等について
- 4 会期について
- 5 議案の取り扱いについて
- 6 会議日程について
- 7 定例会における討論通告の締切りについて

- 1 ◆11月22日 平成30年第5回市議会定例会の招集について
- 2 提出された議案等について
- 3 一般質問について
- 4 提出議案等の内容について
- 5 会期について
- 6 議案等の取り扱いについて
- 7 会期日程について
- 8 一般質問の割り振りについて

- 1 ◆11月30日 正副委員長の互選

- 1 ◆12月12日 平成30年第5回市議会定例会に提出する議案について

議会活性化特別委員会

- 1 ◆11月13日 評価アンケート(案)について
- 2 今後のスケジュール(案)について
- 3 委員長からの経過報告(案)について

広報広聴委員会

- 1 ◆10月15日 議会だより(11月号)の内容確認について

- 1 ◆11月13日 来年度(第4回)議会報告会の実施に向けたアンケート結果に基づく協議について

- 1 ◆12月18日 委員長の互選について
- 2 副委員長の互選について
- 3 議会だより(正月号)の内容確認について
- 4 議会だより(2月号)の内容確認について



平成30年第4回 市議会臨時会

平成30年第4回市議会臨時会が11月13日（火）に開催されました。臨時会での主な案件は、新庁舎建設工事の請負契約の変更議案でありました。

変更の理由は、庁舎運用の効率化を図るために各種設備の仕様を見直すことにより、設計変更の必要が生じたため、工事請負契約の増額変更を行うものであります。

その結果2093万400円の増額となり、工事請負契約の合計金額は48億1073万400円となりました。



平成30年第4回大田原市議会臨時会 審議された議案等と結果

議案番号	議案件名	結果
報告第9号	市長の専決処分事項の報告について (損害賠償の額の決定及び和解について)	報告受理
報告第10号	市長の専決処分事項の報告について (損害賠償の額の決定及び和解について)	報告受理
議案第82号	工事請負契約の変更について	原案可決 (全会一致)

市議会では インターネットによる 生中継をしております

●アクセス方法

ご自宅等のパソコンから生中継をご覧ください。市ホームページの「大田原市議会」から「議会中継」のページへお進みください。また、タブレット端末及びスマートフォンからも視聴できます。なお、本会議の録画映像も市ホームページにて配信しておりますのでぜひご覧ください。



●大田原市ホームページ

<http://www.city.ohkawara.tochigi.jp/>

●お問い合わせ先

大田原市議会事務局 ☎23-8714

平成31年 3月定例会

開催のお知らせ

会期(予定)

3月4日(月)～
3月20日(水)

市議会HPはこちらから



※一般質問内容など詳細につきましては後日、議会ホームページで公開いたします。

請願・陳情はこんな方法で

- 請願（陳情）書は、議会事務局へ持参してください。
- 内容は簡単な趣旨、理由、提出日、請願（陳情）者の住所及び氏名を記載し捺印して提出してください。
- 用紙のサイズは A4 版でお願いいたします。
- 道路や水路等の場合は地図の写しや略図を添付してください。

〈請願（陳情）書の書式例〉

《表紙》

〇〇〇に関する
請願（陳情）

紹介議員名
(陳情は不要)



《内容》

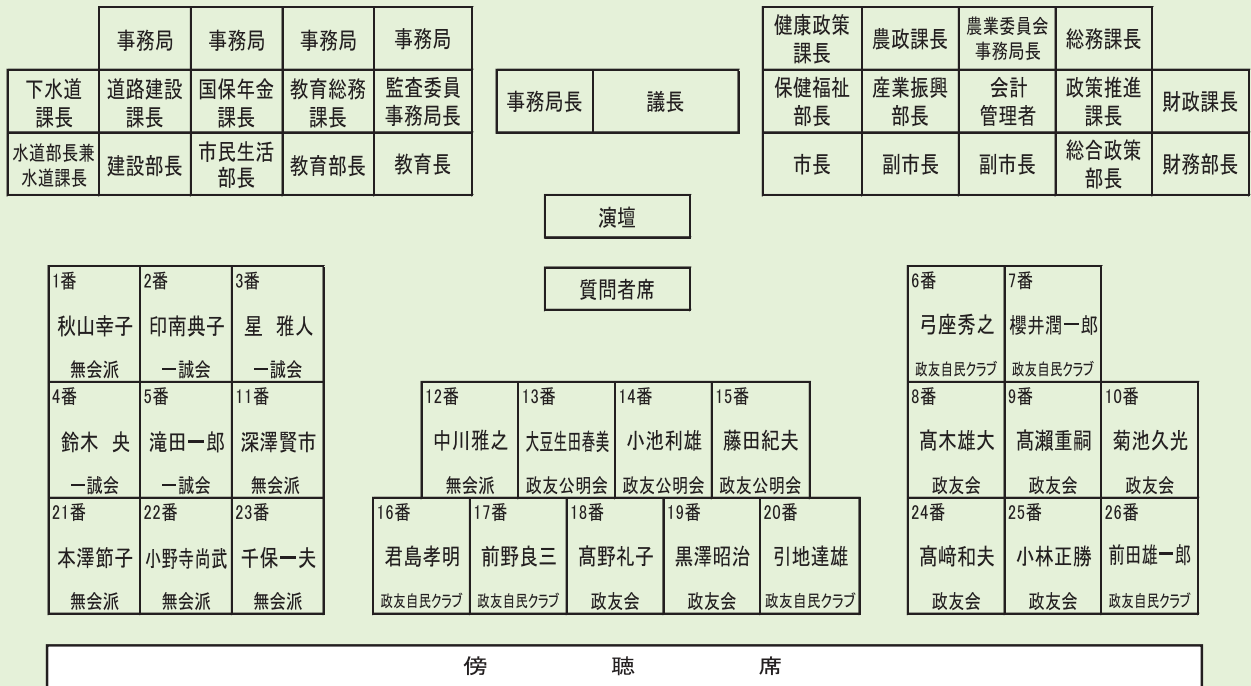
1. 請願（陳情）の趣旨
2. 請願（陳情）の理由
平成〇年〇月〇日

請願（陳情）者

住所
氏名
大田原市議会議長あて



議員議席番号及び新議場内レイアウト図



【会派表記】 政友会、政友自民クラブ、一誠会、政友公明会、無会派（どこの会派にも属していない）

12月4日、第五回大田原市議会定例会を傍聴させていただきました。私にとって通算四度目の傍聴でした。毎回感心させられることは、議員の方々からの市民生活に直結した質問事項と、質問に対して誠実な回答を試みられている市当局側の対応です。議会と行政、それぞれの立場は違えど、立場を超えて市民の福祉に尽くそうとする一体感、この度の傍聴でも覚えめました。

議員の方々から、様々な質問が予定されておりましたが、自身の仕事柄、やはり教育関連の質問事項に関心が向いてしまいます。「小中学校のエアコン整備事業について、スケジュール及び予算についてうかがいます。」との質問と、質問への回答に耳をそばだてました。大変ありがたいことに、来年度中には整備を完了させたいとお言葉。夏の盛りの頃、子どもたちはこれまで以上に、より快適な環境下で学習に取り組めることでしょう。前記の事業推進の基底には、教育に対する津久井市長の熱い思いが込められていると創造します。「すべては子どもたちの未来のために」、何と素晴らしい理念でしょう。市長の教育への想いが強ければ強いほど、我々教職員の責務は、重く大きくなります。各自奮励努力、心してかかるべし！

・・・追記
傍聴しました議場の使用は、12月の定例会をもって終了とのこと。
議場さん、長い間お疲れ様でした。



〈紫塚小学校長〉
荒井清之さん

